



市街地でのタクシーの動き

事故を未然に防ぐためには、運転中に遭遇するさまざまな交通状況において、危険を予知し、的確に回避することが必要です。予測される危険や、それを避けるための運転について考えてください。



交通状況

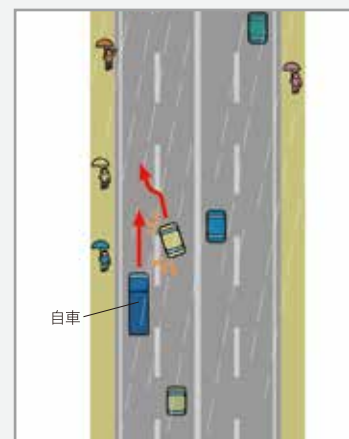
- ・あなたは、市街地の片側2車線の道路を直進しています。
- ・最後の納品が終わり帰社するところです。
- ・夕暮れ近くになり、雨が降りだしたので周囲が薄暗くなってきました。
- ・右側車線のタクシーがウインカーを出して、自車の車線へ進路変更しようとしています。

Q どのような危険があり、どういった運転をする必要がありますか？

このような危険が！

A

- ・仕事が終わって気が緩むと注意力が散漫になり、とっさにブレーキをかけるのが遅くなることがあります。
- ・周囲が薄暗くなると、周りのものが見えづらくなります。特に歩行者や自転車を見落とす危険性があります。
- ・タクシーの動きには要注意です。客を乗せるために強引な車線変更や急停車をすることがあり、そのためタクシーに追突する危険性があります。また雨で路面が濡れていると乾燥時よりさらに制動距離が伸び危険です。



このような運転を！

A

- ・常に周囲の交通状況を確認し、タクシーに対しては急な行動を予測しながら運転することが必要です。
- ・夕暮れ時は視認性が下がるので、早めのヘッドライトの点灯を心掛けましょう。
- ・雨の日は路面が滑りやすくなっていることや、その時の積荷の状況を常に意識し、状況に応じて速度や車間距離を調整しましょう。